



小石川後楽園内庭のスイレン

清友

No. 189

2025年5月
2025年5月9日発行

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

5・3憲法大集会



未来は変えられる！

快晴の5月3日、有明防災公園で「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！25憲法大集会」が開かれ、昨年を上回る3万8千人が集まりました。退職者会の参加者は12名。

共闘の力で改憲発議を阻止

主催者挨拶は、菱山南帆子さん。「これまで、改憲の危機をはね返し続けられたのは、私たちの粘り強い運動の成果だ」「台湾有事を口実に戦争態勢づくりが進み、世界は排外主義と分断が吹き荒れているが、平和を守り、軍事に頼らない政治こそが

憲法の精神だ」「ミサイルで戦争をつくり出すのではなく、憲法をもって平和をつくり出そう」と力強くアピールしました。

共生・非核・平和外交が要

メインスピーカーは3名。中央大名誉教授植野妙実子さんは「肌の色も思想も違う様々な人たちが、共に生きていく前提は、平和であることだ」、日本被団協田中熙巳代表委員は「世界は核戦争の危険な状況。被団協は核兵器を絶対に使ってはいけないという規範を示してきた。核廃絶の願いを皆さんが引

継ぎ、広げてほしい」、元官僚で政治経済評論家の古賀茂明さんは「アメリカ一辺倒では危険。憲法の理想を高く掲げ、世界に訴えよう」と主張しました。

政党代表挨拶は、立憲、共産、れいわ、社民、沖縄の風、5党・団体中4名が女性でした。

市民や若い人たちのリレートークでは「日本の平和は、沖縄の犠牲で成り立っているのか」という鋭い指摘があり、続いてプラカードアピール。「LOVE 憲法 世界に平和を」「軍拡ではなくいのち・くらし」「ジェンダー平等 いますぐ実現」をかかげました。

改憲派は「9条改憲」主張

一方、改憲派は、衆院の与党過半数割れ、両院で改憲派が3分の2に達していない状況下、いらだちを隠せず、『民間憲法臨調』等の集会で、「緊急事態対応と自衛隊の明記を最優先に」（自民）、「自衛隊明記など具体的な改憲作業を」（維新）、「9条見直しなしに国家戦略はありえない」（国民）と、改憲の狙いが、9条そのものにあることを露骨に示しています。

6月13日 第17回定期総会

第17回定期総会を、次の通り開催します。

▼開催日 6月13日(金)
10時15分開会

▼会場 清掃会館ホール

▼懇親会 12時30分開始
懇親会費千円

今月の定例連絡に「出欠連絡」用ハガキを同封しました。6月6日頃を目途に、返信をお願いいたします。なお、経費節減のため、昨年からの「出欠連絡」のネット

対応を行っています。日頃から事務局との間でネット連絡している方は、ハガキを送りません。総会議案の①活動方針案、②会計予算案を、今月送りました。「旅費基準全面改正」も検討しています。成案ができあがれば、6月にお送りします。今年も総会後の懇親会を実施します。昨年、5年ぶりに行い、楽しい時間を過ごせました。今年もよろしくお願ひします。

ボウリング大会など 新しい行事を検討中



会の親睦行事は、現在、総会後と学習会後の懇親会を含めて9つです。もう少し増やしたいと、様々な行事を検討していますが、一定程度の参加者を見込めるものを見出せていません。最近、ある会員より「ボウリング大会できません？」との意見を頂戴しました。東京清掃のボウリング大会に退職者会も参加しており、前々からその予選

会を行えないか検討していただきました。そういう事情も踏まえ、できれば7月に実施する方向で、検討に入りました。乞うご期待。その他、「博物館めぐり」もどうかと。自身が子どもだった頃や、子どもが小さかった頃を思い出しつつ楽しむのも、一興ではないかと思えます。みんなで楽しめる、何かいい案がありましたら、教えてください。

5月～6月の主な行事と行動予定

■春のフィールドワーク

*日時 5月12日(月)

*集合 9時45分

京浜急行線「鮫洲」駅東口

*ランチ 新馬場駅付近を予定

*参加費 2千円

■第5回幹事会

*日時 5月19日(月)

*日時 10時30分

*場所 清掃会館

●5・19国会議員会館前行動

*日時 5月19日(月)

*日時 18時30分

*場所 衆院議員第二会館前

●狭山事件の再審を求める市民集会

*日時 5月23日(金)

*日時 13時00分

*場所 日比谷野外音楽堂

※集会後デモ

▼平和フォーラム戦後80年企画 連続平和学習会(紹介)

*日時 5月30日(金)

*日時 18時30分

*場所 連合会館201会議室

*テーマ 戦後80年の歩みとともに考える憲法

*講師 清水雅彦さん

■第17回定期総会

*日時 6月13日(金)

*開会 10時15分開会

*場所 清掃会館ホール

*参加費 千円(懇親会費)

▼平和フォーラム戦後80年企画 連続平和学習会(紹介)

*日時 6月18日(水)

*日時 18時30分

*場所 連合会館203会議室

*テーマ 沖縄戦の悲劇から平和を考える

*講師 飯島慈明さん

●6・19国会議員会館前行動

*日時 6月19日(木)

*日時 18時30分

*場所 衆院議員第二会館前

▼東京総行動

*日時 6月26日(木) 一日

*場所 都内各地(トヨタ・JAL中心に対応)

▼平和フォーラム戦後80年企画 連続平和学習会(紹介)

*日時 7月31日(木)

*日時 18時30分

*場所 連合会館201会議室

*テーマ 靖国問題から考察する戦争の記憶

*講師 内田雅敏さん

年金額は6月支給分から1・9%アップ

25年度の年金額は、既報のとおり1・9%引き上げになりました。4月15日支給分は2・3月分ですから、旧年度の水準でした。6月13日支給（4・5月分）分から新年度分に移行し、1・9%増額になります。厚生年金の夫婦2人標準例では、月額4、412円の引上げです。

物価に追いつかない仕組み

総務省統計の消費者物価指数3月分は、前年同月比3・6%上昇でした。体感的には5%以上じゃないかと思えます。この程度の年金引上げでは、物価上昇にまったく追いつきません。年金額は、賃金と物価変動

在職老齢年金支給停止調整額4月から51万円に

働きながら年金を受給する「在職老齢年金」は、年金と賃金の合計月額（年額の12分の1）が基準額を上回ると、賃金により限度額を上回った分の半分相当の年金が支給停止されます。この「支給停止調整額」は名目賃金の変動に応じて改訂され

の低い方に合わせる年金額改定ルールと、マクロ経済スライド調整の2つの抑制策により、今年度分も0・8%抑制されていきました。年金額改定時の消費者物価指数は2・7%でしたから、単純計算では「抑制分0・8%＋物価上昇分0・9%」の1・7%目減りしていることとなります。結構大きいですよ。

マクロ経済スライドが継続

厚生年金に関わるマクロ経済スライドは、26年で終了する見込みでしたが、基礎年金底上げ問題のあおりで、次期制度改定期の30年まで、暫定継続されることになりそうです。

ますので、4月から1万円アップし、51万円になりました。

なお、今年の年金制度改革案では、支給停止調整額は62万円になる予定です。働く高齢者には朗報ですが、将来世代の年金額に影響が出ます。



年金制度改革法案は5月中旬国会提出か

今国会に上程される予定だった年金制度改革法案は、小規模事業者の社会保障負担発生と、ネット等の「負担増」論に自民党が過剰反応。参院選対策で「年金は鬼門」と、ごねたため、6月22日予定の国会会期末に間に合わない可能性も出ています。

自民党により骨抜きにされた被用者保険の適用拡大

年金改正の柱は、①被用者保険適用拡大（賃金要件と企業規模要件撤廃）、②在職老齢年金制度見直し（支給停止調整額引上げ51万円↓62万円）、③標準報酬月額見直し（上限額引上げ65万円↓75万円）、④遺族厚生年金見直し（男女差解消、有期給付対象年齢を60歳へ段階的に引上げ、子の加算増額、配偶者加算減額、中高齢寡婦加算段階的廃止）、⑤基礎年金底上げ（厚生年金積立金活用）でした。

このうち、被用者保険対象拡大の企業規模撤廃は、35年10月までの段階的解消、個人事業所は新規開業事業所に限定する方向と、骨抜きにされています。もう一つの骨抜きは、基礎年

金底上げ策の見送りです。ネットなどで「厚生年金保険料で国民年金を増額」などと叩かれたためです。厚生省の試算では、厚生年金対象者も基礎年金が引上げになり、調整終了後、全体の年金額は厚生年金受給者の99・9%超でアップする見込みとされています。ただし、基礎年金引上げは将来的に国庫負担増に繋がるため、財務省が抵抗したという側面もあります。

年金制度改革に後ろ向きな自民党には退場願おう

中小零細であろうとも、労働者を雇うなら、被用者保険を負担する責任があります。それができない企業は退場すべきです。自民党が、そういうゾンビ企業を票田として擁護し続け、結果として労働生産性が上がり、経済の停滞を招きました。基礎年金底上げに伴い、現年金受給世代の年金額はしばらくの間目減りします。そうであっても制度改革は必要と考えています。選挙目当てで制度改革を遅らせようとする自民党には、退場してもらおうしかありません。

清掃・人権交流会「草加・吉見フィールドワーク」

清掃・人権交流会「草加・吉見フィールドワーク」が、4月13日に行われ、市民含め37名参加。清掃会館に8時15分集合、ちよつと豪華な都交通局観光バスで出発。日曜日の朝だからか、一般道も高速もすいていて、瞬間に草加へ着きました。

草加の皮革産業では

草加の皮革産業は、煎餅、浴衣と並んで三大産業だとか。約



河合産業で事業の説明

イタリア製とかの大型機械

参加した芝浦と場労組の仲間の「日頃、皮を剥ぐとき傷つけないよう細心の注意を払う。穴が開いたものも活用できると知り、嬉しかった。だからといって、雑に扱うわけではないですよ」発言

100年前、浅草からの進出に始まり、墨田木下川や台東、荒川からの移転・進出が続き、現在は一人親方含め100社、和歌山、姫路と並ぶ三大生産地とのこと。日曜日でしたが、河合産業さんが見学に応じてくれました。需要の変化に応じ、食品・工業用豚皮精製事業に業態を変化させ、現在はゼラチンやコラーゲンの生産が主要事業であることなど説明を受けました。釣りに使うルーアも、環境負荷を考慮した豚皮を特殊加工した「ポークルア」を製造。草加の皮革産業は、様々な業種が集合している特性を活かし、ブランドメーカーとタイアップするなど、新たな試みに積極的です。

に参加者一同、爆笑。交流の場の良さが表れた一幕でした。

吉見百穴はやっぱり面白い

次の目的地は、吉見百穴。正しい読みは「よしみひやくあな」。最近では「ひゃっけつ」でもいいとされているようです。

古墳時代の横穴墓で、極めて貴重です。その百穴に異様に大きな開口部が。アジア太平洋戦争末期に中島飛行場の地下軍需工場が造られた跡です。地下工場建設には、4千人もの朝鮮人が強制労働させられました。

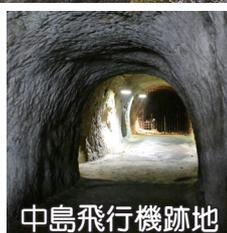
吉見百穴につく頃、本格的な雨。百穴資料館で朝から同行していたいただいた講師の吉田勉さん（東日本部落解放研究会）より、地下軍事施設における朝鮮人強制労働や、埼玉の被差別部落の歴史と実態、江戸期の被差別身分の構造、次に行く和名村の特徴点などの説明を受けました。

雨の中「和名村」見学

最後の訪問先は、被差別部落の構造や生業の痕跡が残る和名村。主な生業は、斃牛馬処理、



吉見百穴



中島飛行機跡地

農業のほか灌漑地の管理など。荒川と市野川からの水害対策として築かれた堤防に囲まれており、水不足は深刻。いくつもの灌漑池がつくられています。この灌漑地の排水口や川の樋門管理は、被差別部落民の仕事とされています。これらの痕跡を見学しましたが、雨のため、村全体の構造を理解できる見学を行えず、特に、共同墓地などを見残したことは残念でした。できれば、次の機会があればと…。今回も、楽しく貴重な体験をすることができました。企画・準備された清掃・人権交流会の関係者に、感謝感謝です。

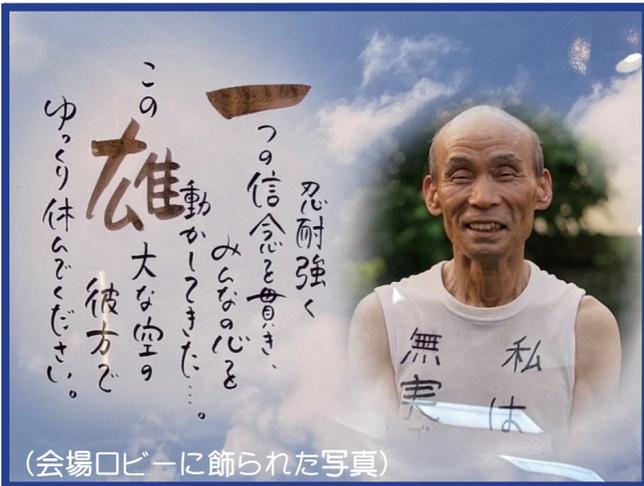
石川一雄さん追悼！第4次再審請求に勝利しよう！

4月号でお知らせしたとおり、狭山事件で62年間無実を訴え続けて闘ってきた石川一雄さんが、お亡くなりになりました。

ここ数年、徐々に体力が落ちてきて体に不自由を感じていたものの、無実を訴える気力は充実していた一雄さんでした。

しかし、昨年暮れから入院をくり返し、とうとう3月11日にお亡くなりになったのです。

東京高裁家令裁判長のもとでの、第3次再審請求をめぐる取組みは、この4月にも証人尋問

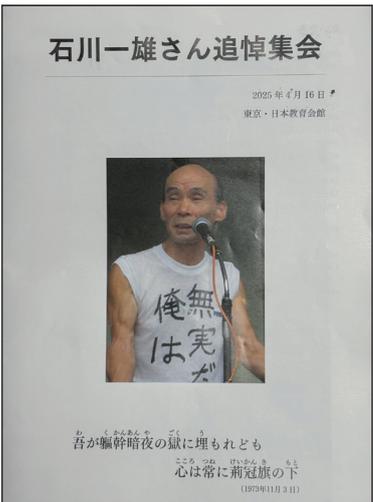


に道を開くのではないかと、期待を持たれていた矢先であり、石川一雄さんの無念さは計り知れません。

石川一雄さんお別れ会に 全国から千人が参加

4月16日に、日本教育会館で石川一雄さんを追悼するお別れ会が、千人もの参加者で執り行われました。狭山闘争に思いを寄せて取り組んできた全国の人たちが続々と集まり、会場の大ホールからあふれた人は、会館中を埋めました。

黙とうと金聖雄監督作成の追悼映像で開始された追悼会は、李政美さんや小室等さん等の追悼の歌に続いて、解放同盟関係や各界の人々、弁護士、袴田ひで子さんなどの追悼のことばが



一雄さんに向けられました。

あいさつの最後に立った石川早智子さんは、時に涙ぐみながら、一雄さんの生きざまを語りました。いくつもの短歌を紹介しながら、不屈の闘いを最後まで貫いた一雄さんに思いを寄せ、そして、彼の無念を晴らすため早智子さんが請求人となつて第4次再審請求に立ち上がったことを、力強く訴えました。

参加者による献花では、一人ひとりがお別れのことばとともに、再審により完全無罪をかちとることを誓いました。

国家権力の引き延ばしに より、奪われた命！

第3次再審を請求してからもすでに19年が経っています。検察も裁判所もぐるになつて、ひたすら逃げ回ってきました。

第3次再審請求だけでも、東京高裁の担当裁判長が10人も変わったのです。

部落差別によるえん罪で女子高校生殺しの殺人犯にされた石川一雄さんは、最後までまさに国家権力によつ



て命を奪われたのです。

石川一雄さんの死去により、第3次再審請求は打ち切りとなりましたが、4月4日には、妻の早智子さんが第4次再審を請求しました。この請求の担当は東京高裁第4刑事部となり、これまでの第3次再審請求を担当した家令裁判長のもとで、取り組まれることになりました。

第4次再審請求闘争に 全力を上げよう！

これからは、第4次再審請求闘争を、一日も早い再審開始と再審無罪獲得の闘いに結び付けなければなりません。

石川一雄さんの無念と悔しさを晴らす闘いに、全力をあげて行きましょう！ 5月23日には、全国市民集会在日比谷野音で開かれます (押田五郎記)

今年も「4・13根津山小さな追悼会」開催

により発足。毎年4月13日に追

4月13日(日)午後2時より、小雨降る中、南池袋公園東側の「豊島区空襲犠牲者哀悼の碑」前にて、城北大空襲の犠牲者を悼み平和を祈る集い「4・13根津山小さな追悼会」を開催しました。市民の手で開催され、今年で31回目となります。

城北大空襲は、今から80年前の昭和20年4月13日深夜から翌14日未明に東京城北部一帯を襲った空襲で豊島区で死者77人、全焼家屋3万4千戸、被災者15161人(当時の区の人口の7割)もの甚大な被害を3時間の空襲で、もたらしました。



池袋東口グリーン大通り周辺は当時「根津山」と呼ばれ、その一角(現・南池袋公園)には大勢の犠牲者がトラックで運ばれ、仮埋葬、棺桶にも入れられず埋められたといひます。戦後掘出され火葬され、両国の東京都慰霊堂に埋葬されています。

仮埋葬の地の南池袋公園に周辺市民の要望で豊島区の哀悼の碑が作られました。「4・13根津山小さな追悼会」は、そうした名も知れずに葬られた方々への鎮魂と平和への祈りをささげようと、城北大空襲50周年となる平成7年に地元の方々の尽力

追悼会を開催しており、今年は、内容を縮小して開催しました。

式は、開会のことば・区長のごあいさつ・黙祷・鎮魂のごことばでボランティアの牧師さんのお祈りとお坊さんの読経、閉会のことば、献花という流れでした。天気さえよければ被災された方の被災証言、被災された方からの聞き取りの朗読を予定していました。予定していた朗読は、目の見えないお母さんの手を引き避難しようとする中で目の前でお母さんが炎に包まれ焼け死に、ご自身も大やけどを多い、戦後ケロイドで苦労したお話を

話です。

今年には空襲から80年でもあり、空襲についての学習会を実施し、例年4ページの「根津山だより」を8ページで発行しました。体力的に屋外での追悼会の設営がなくなる中で、今年には業者に委託し実施しました。

小雨降る中で参加者が減り、経費が増大し、寄付も減少し、財政的にもきついです。来年も実施していこうとの決意です。(吉田雅明記)

戦争する国づくりを許さない!

「ケンポージツゲン!ケンポージツゲン!」5・3憲法集会のオープニングを飾った「公園でONE」の歌声で、4月の19日行動はスタートしました。

主催者は「台湾有事は意図的につくられたもの」と指摘、市民の発言では「能動的サイバー防御法」は政府による利用者の同意なきネット監視、無害化実施等、主権侵害、戦争を呼び込む危険がある」「沖縄・南西諸島だけでなく、日本全体で基地強化、軍事化が進んでいる」と、戦争する国づくりを許さない取り組み強化が訴えられました。



追い込もう！参院選でふたたび 自公政権を過半数割れへ！

『壊憲NO！96条改悪反対連絡会議』主催の「追い込もう！参院選でふたたび自公政権を過半数割れへ！辻元清美議員との対話集会」が4月9日、文京区民センターで開かれました。

集会趣旨を主催者は、「政権交代へ向けて参院選でも自公過半数割れを目指し、辻元議員に我々の意見を反映してもらおう」と述べています。辻元議員のお話しは次のとおりでした。



あと25で政権が変わる

衆院選で自公過半数割れになった。あと25で政権は変わる。政権に近づいて政策を実現したい野党と、政権交代を目指す野党がある。小政党は与党に近づくとことになりやすい。政治は、数を取らなければならぬ。

生活の危機をどうする

アベノミクスでズタズタ。経済の正常化は簡単ではない。できることの一つは賃上げと税金の使い方の変更。大企業が溜め込んだ内部留保に課税すべき。

富の配分が片寄り、若い人の生活は苦しい。派遣法を同一労働同一賃金とし、非正規で働き続けさせないようにすべき。

消費税は食料品の税率ゼロか大幅に引き下げるべき。食料品ゼロは4兆円に相当。一人4万円給付の方が平等かどうか。税ゼロは金持ちが得する。ガソリン暫定税率の廃止はよし悪しあり。地球温暖化が問題だが。



辻元清美参議院議員

防衛費倍増で財政は身動きできない。子育て予算対策で社会保障削減。高額療養費問題は200億円削るという内容、万博の大屋根リングは350億円、税の使い方が問題。防衛産業は大儲け、三菱重工へ天下り100人、防衛産業から献金のトライアングル。

平和の危機をどうする

米中関税競争、ロシアのウクライナ侵略、パレスチナ。ランプはヘイトをあおり差別を助長。欧州も外国人排斥。世界レベルで平和の危機に直面。

都知事選は石丸がわけのわからないことで票をとった。兵庫の斎藤知事、トランプ、韓国、ユン大統領支持の共通点は陰謀論。差別主義が絡み合っている。

SNSで目覚めた若い人たちが政治運動を始めており、一大政治勢力化。政治はものすごい

勢いで変わっている。若い人はどうやってメッセージを届けるか。石丸支持は男が中心、斎藤支持も男、玉木支持も男、女は騙されない(笑)。ジェンダー平等は突破口になる。夫婦別姓は日本社会を変える力になる。だから、女性議員を増やしたい。

政権交代へ向けて

全国一般労働者組合から、民間小規模企業の過酷な労働環境、全司法労働組合から、公務の非正規労働者増加、子育て環境、千葉動力車労働組合から、久留里線廃線問題を報告、辻元議員が次のように応えました。

小規模事業者が価格転嫁を求められる仕組みが必要。

公務員の非正規化は深刻。大阪は公務員削減をやった結果、コロナの死亡率は日本最高に。公務労働者の環境整備が必要。

ヨーロッパでは、地球環境対策で公共交通に税金をかける方向。国民の移動の権利を守るべき。民主党政権はいろいろ政策を考えた。政権を変えてもすぐには社会構造は変わらない。軌道修正に10年かかる。世代交代しつつ、自分たちも変わろう。

HIBIYA 96th MAY DAY

★大幅賃上げ実現！ 労基法解体を許すな！ 社会保障の充実を！
 ★ジェンダー平等！ 均等待遇実現！ なくせ貧困・格差・差別！ 8時間働けば暮らせる社会を！
 ★被災者支援！ 福島原発事故を忘れない！ 原発のない社会を！
 ★反戦平和！ 核兵器廃絶！ 9条改憲反対！ 大軍拡・増税反対！ 辺野古新基地建設阻止！



争議団と東京清掃青年部が登壇してオープニングセレモニー



5月1日の日比谷メーデーは、強い日差しの中で開催。約3千人が集集しました。主催者は「平和と民主主義を守るため、世界の労働者と共に闘おう」と所信表明、来賓挨拶で大椿ゆうこ参議院議員は「有期雇用という働き方は問題だ、首を切られた時、労働組合が唯一支援してくれた経験を活かし、働き方を変えるため奮闘する」と発言、決意・訴えのテーマは「労働法製改悪反対、争議勝利、外国人労働者の人権、反戦平和運動強化」でした。退職者会の参加者は21名、元気に、鍛冶橋までデモしました。



デモ行進の先頭に立つ東京清掃

第96回メーデー中央大会は、4月26日の土曜日に、代々木公園で開かれました。芳野連合会長は、「25春季生活闘争で、中小・小規模事業所は前年を上回る賃上げ率を確保し、格差は縮まった」「80年前の犠牲と引き換えに築かれた平和をこの先につないでいこう」と訴え、来賓として登壇した石破首相は、「賃上げこそが成長戦略の要」と発言しました。しかし、首相来場が理由だとしても、入場時の持ち物検査実施は、いただけません。

中央メーデー



芳野 メーデー あいさつする石破首相